

AI時代における相談のかたち

佐倉市教育センター所長 塚越 薫

最近のニュースでは、AIに関わる話題を多く耳にします。身近なところでも、「生成AI」と「家電製品」の組み合わせや企業でのAI導入などAI技術の進化が急速に進んでいます。私たちの日常生活にAIが多く入ってきていることがわかります。

そのような中で近年の調査によると、「子どもたちの悩みや不安を誰に相談するか」—その答えは、「友達」「家族」、特に母親が中心となっています。しかし、ここ数年で大きな変化が見られます。中高生を中心に、SNSや生成AIといったデジタルな相談手段を利用する子どもたちが増えているそうです。最新の調査では、高校生の約3割が「AIに相談したことがある」と答えています。AIは気軽に24時間いつでも相談でき、さまざまなテーマに対応してくれるため、こうした背景が利用増加につながっているのだと思います。

教育センターに寄せられる電話相談でも、「AIにも相談したのですが・・・」や「相談内容をAIに入力したら教育センターが紹介されたので電話しました。」などの声が聞かれ、AIが身近な相談先となっていることを実感します。また、子どもたちは学校生活でも学習や情報収集などで日常的にデジタル機器を利用しています。このような実態から、悩みや質問をAIに投げかけることは自然な流れではないでしょうか。

一方で、東京大学社会科学研究所とベネッセ教育総合研究所の調査では、中高生の「なりたい職業」ランキングで教員が10年連続1位という結果が示されています。教員というと、働き方に関する厳しいニュースや、採用試験倍率の低下などが取り上げられることが多く、教員をめぐる報道は明るいものばかりではありません。それにもかかわらず、子どもたちが教員に憧れを抱いているという事実は、日々の学校生活の中で、『子ども一人一人に向き合い、気持ちに寄り添い、励まし、認めてくれる』という先生方の関わりが、子どもたちの心に届いていることの表れではないでしょうか。

AIは、わたしたちに多くの情報を与えてくれます。相談機関を利用しなくても、AIに相談すればよいと考える人もいるかもしれません。教育センターで行う教育相談は、対面で実施しているため、相談者が安心して相談できる環境を心がけ対応しています。AIには相談者の表情や緊張、不安などを汲み取って寄り添うことはできません。また、一般的な情報の提供はしてくれますが、学校や地域の関係機関との調整まではできません。

教育センターでは相談方法が多様化する今だからこそ、子どもや保護者の方が「話してよかった」と思える温かい相談の場を大切にしていきたいと思っています。これからも、一人一人の気持ちに寄り添える教育センターでありたいと思います。

なりたい職業ランキング (2024年)

★は同順位

小学4～6年生		中学生		高校生	
1位	プロスポーツ選手	1位★	プロスポーツ選手	1位	教員
2位	店員	2位★	教員	2位	看護師
3位	教員	3位	医師	3位	医師

東京大学社会科学研究所・ベネッセ教育総合研究所
「子どもの生活と学びに関する親子調査」2024年より

不登校児童生徒のための居場所づくり ～ルームさくらのイベントを紹介します～



【クラゲの教室】

千葉県立佐倉南高等学校の授業で育てたクラゲがルームさくらにやって来ました。佐倉南高校の生徒のみなさんと、クラゲの観察や学習を通して楽しく交流しました。



クラゲを間近で観察しました！

【校外学習】

千葉市立加曽利貝塚博物館と、千葉ヤクルト工場に行って来ました。みんなで行動することで、社会のマナーや友だちとの過ごし方も学べました。



火起こし体験！
頑張りました！



見学しました！
竪穴住居の中も

【図書館おしごと体験】

志津図書館内を見学し、ブックカバーの取り付けを体験しました。図書館司書の方とも交流し、キャリア教育の一端として、また、図書館利用の実際を学ぶ機会となりました。



佐倉市の特別支援学級

～お子さんの特性に合った特別支援学級があります～

- 【知的障害特別支援学級】と【自閉症・情緒障害特別支援学級】は、34校全ての小中学校にあります。
- 【難聴特別支援学級】と【弱視特別支援学級】は、必要としている小中学校にあります。

【難聴特別支援学級】

聴覚に障害のあるお子さんが、自分の障害を理解しながら、学習しています。（平成30年度開設）

聞こえやすい環境で学習しています



自分の聞こえ方や、聞くための道具についても学習しています。

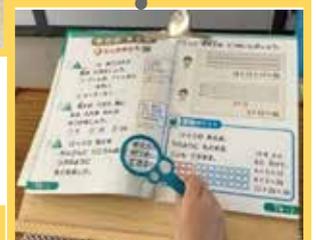
【弱視特別支援学級】

視覚に障害のあるお子さんが、自分の障害を理解しながら、学習しています。（令和7年度開設）

手元はルーペで



書見台姿勢が悪くならないように



黒板は単眼鏡で

見えやすい道具を使って学習しています。

令和6年度佐倉市学習状況調査 ～学力向上に向けた授業改善のために～

令和6年度佐倉市学習状況調査について、基礎基本に関する問題のうち、課題の見られた問題の正答率と授業改善の手立てをまとめました。また、児童・生徒の学習意識調査により、「宿題は家できちんとやりとげようとする」と、学力との相関関係を調べました。ここでは調査結果の一部を掲載しています。

基礎基本の結果と手立て



国語 漢字の読み書きや言葉のきまりについての問題

手立て

学年	正答率が高い問題	正答率が低い問題
小学1年	お・を ※使い分け 97.0%	左右 ※読み 63.8%
小学4年	愛 ※読み 98.5%	勝負 ※書き 41.3%
小学6年	真面目 ※読み 98.9%	破損 ※書き 36.0%
中学1年	深刻 ※書き 97.7%	載せる ※書き 31.4%

- 掲示物の利用や教科書の音読等、様々な方法で漢字を意識させたり、語彙を増やしたりする工夫を行う。
- 漢字小テスト等を継続的に行う中で、新出漢字だけでなく、使用頻度の高い漢字についても確認を行う。

算数・数学 計算や図形などの基礎的な内容についての問題

手立て

学年	正答率が高い問題	正答率が低い問題
小学2年	23+76 97.1%	281-43 80.4%
小学3年	500g+400g 97.4%	1km50mは何mか 70.8%
小学5年	3×0.6 92.6%	12と20の最大公約数 50.8%
中学2年	-8x×5y 98.0%	(1,3)、(3,7)を通る直線 46.1%

- 基礎的・基本的な計算については、家庭学習でも繰り返し練習したり、短時間で小テストを実施したりして確実に定着を図る。
- 当該学年の内容だけでなく、前学年までの内容の定着度を確認し、必要に応じて前学年の復習も取り入れる。

理科 物質・エネルギー・生命・地球の基礎的な内容についての問題

手立て

学年	正答率が高い問題	正答率が低い問題
小学3年	ゴムの力のはたらき方 95.9%	太陽がのぼる方位 65.2%
小学6年	消化の意味 96.6%	排出に関わる臓器 52.5%
中学2年	NaHCO ₃ の熱分解時の気体 96.6%	示相、示準化石の分類 37.1%

- 学習後、タブレットも活用しながら、定期的に振り返りをする機会を作り、知識の定着を図る。
- 映像資料、ICT機器を活用し理解を深める。
- 教科書にある「キーワード」を確認し、ノートに書く時間を確保する。

外国語 リスニング・語形変化・場に応じた表現・読解・英作文についての問題

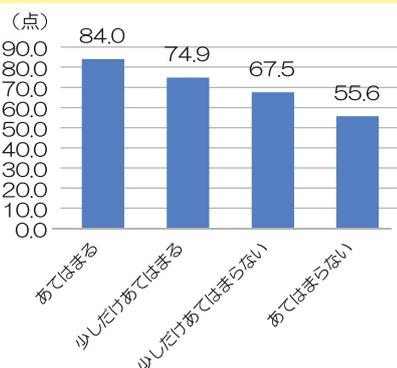
手立て

学年	正答率が高い問題	正答率が低い問題
小学5年	アルファベット 99.5%	できることに関する表現 48.0%
中学1年	一般動詞含む肯定文の語順 99.1%	一般動詞：三人称単数 33.5%

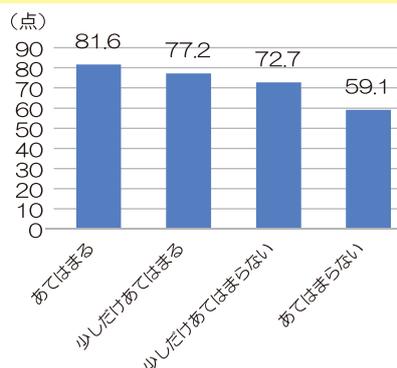
- 授業内で簡単な英語での会話を通して、質問や回答をするやりとりに慣れる。
- 文法が定着するように、書いたり、問題を解いたりする練習を反復する。

学習意識調査より ～家庭学習と学力の相関～

「宿題は家できちんとやりとげようとしている」という設問と算数の平均正答率の相関(小4)



「宿題は家できちんとやりとげようとしている」という設問と数学の平均正答率の相関(中2)



左のグラフは、児童生徒を対象にした学習意識調査の結果の一部です。「宿題は家できちんとやりとげようとしている」という問いに肯定的な回答をした児童生徒は、基礎的な学力が高い傾向にありました。家庭学習の習慣を身に付けることで、学校で学んだ内容がより定着しやすくなります。今はタブレットを使うことで、個に応じた課題を出すこともできます。積極的に活用してください。



令和7年度 全国学力・学習状況調査



4月17日に全国学力・学習状況調査が実施されました。結果より、佐倉市の児童生徒の学習状況について県や全国と比較しながら、特徴と現状分析についてまとめました。

☆:成果 ▼:課題

小学校 国語

- ☆情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、使うことができている。
- ▼目的や意図に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題がみられる。

小学校 算数

- ☆数と計算に関する内容の正答率が概ね良好である。
- ▼目的に応じて適切なグラフを選択して増減を判断し、その理由や言葉や数を用いて記述することに課題がみられる。

小学校 理科

- ☆地球を柱とする領域に関する内容の問題形式の正答率が概ね良好である。
- ▼身の回りの金属について、電気を通す物、磁石に引き付けられる物があることの知識に課題がある。

中学校 国語

- ☆文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方を捉えることができている。
- ▼資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することに課題がある。

中学校 数学

- ☆事象に即して、グラフから必要な情報を読み取ることができている。
- ▼目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することに課題がある。

中学校 理科

- ☆加熱を伴う実験における実験器具の操作等に関する技能が身に付いている。
- ▼考察をより確かなものにするために、音に関する知識及び技能を活用して、変える条件に着目した実験を計画し、予想される実験の結果を適切に説明することに課題がある。

《児童生徒質問紙と学力のクロス集計より》

「自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する(文字、コメントを書くなど)ことができますか」の質問に対し、肯定的な回答をした児童生徒(とてもそう思う・そう思う)において、平均正答率・IRTスコアが高い傾向にありました。ICT機器を児童生徒の実態や学習内容に応じ、効果的に活用していくことが大切です。

詳細はこちらからも
ご覧いただけます



あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する(文字、コメントを書くなど)ことができると感じますか

